



営業秘密訴訟の動向及びコンピュータフォレンジックスについて考える グローバル企業が抱える営業秘密に関する問題を中心に

情報流出や機密漏洩は日本企業にとって大きな損失であり、グローバル化やIT技術の発展に伴い今後もこの傾向は続くと思われます。残念な事に現在の日本の法律では原告側に立証責任がある点や自社の情報管理への評判が落ちる事を考え、泣き寝入りするパターンが多いのが事実です。今回のセミナーでは先日、台湾にて営業秘密法改正に関する国際シンポジウムに出席し日本の営業秘密法改正について講演した阿部隆徳先生より営業秘密訴訟の現状と改正の動向をお話しいただくと共にクロール・オントラックでは実際のケーススタディをベースに、コンピュータ・フォレンジックスの技術を利用しいかにしてそれらの対応や予防を戦略的に行うのがいいか実践的な方法を紹介します。

■ トピック

□ 日本の営業秘密訴訟の現状と改正の動向

スピーカー：阿部 隆徳先生（阿部国際総合法律事務所 所長弁護士 ニューヨーク州弁護士）
-「情報資産」としての営業秘密を法的にいかに守るればいいのか。

□ 日本企業における情報漏洩の現状と課題

スピーカー：吉岡 一真（クロール・オントラック アカウント・マネージャー）
-万一営業機密が漏洩した場合、企業はどのような初動をとらなければならないか。

日程 & 会場

日時： 2015年1月21日（水） 13:00～15:00

会場： 大阪市中央区城見1丁目3番7号 松下IMPビル（阿部国際総合法律事務所内）

会費： 無料

定員： 15名（定員となり次第、締め切らせていただきます）

※会場キャパシティを考慮し、1社につき2名様までとさせていただきます。

セミナーへの登録方法

セミナー参加のご登録は、以下必要事項を1月14日（水）までに、下記メールアドレスにお送りください。

必要事項：会社名、部署・役職、お名前、住所、電話番号、メールアドレス

Email: abe@abe-law.com セミナーに関するお問い合わせ：06-6949-1496（阿部 隆徳（アベ タカノ）宛）